

1-4 循環器内科

一般目標（G I O）

全人的医療を実践するには、プライマリケアの習得が必須となる。その領域の中心を成すものが、内科である。循環器領域は、内科領域のなかでも救急疾患が多く、その初期診療が重要な位置を占める。将来の専門性にかかわらず 日常診療で頻繁に遭遇する循環器疾患に適切に対応できるプライマリケアの基本的な診療能力を身につけ、循環器内科疾患に関連する他科疾患を包含した患者ケア、社会背景についても理解する。

行動目標（S B O s）

1. 循環器内科で追加される目標
 - ①. 中心静脈カテーテルの挿入に関して、適応・合併症・管理について述べることができ、実施できる。
 - ②. 心臓カテーテル検査・治療の手技を理解し、助手を務めることができる。
1. **基本的検査**について、ここでは特に次にあげるものを習得する。
 - ① 一般尿検査
 - ② 一般血液検査
 - ③ 心電図
 - ④ 動脈血血液ガス分析
 - ⑤ 細菌検査
 - ⑥ 超音波検査
 - ⑦ 単純X線検査
 - ⑧ CT検査
 - ⑨ MRI検査
 - ⑩ 核医学検査
 - 11 神経生理学的検査
2. **基本的手技**についてここでは特に次にあげるものを習得する。
 - ① 各種採血
 - ② 導尿
 - ③ 局所麻酔法
3. **消化器内科で経験すべき症候・疾病・病態**（サマリーと必要事項の記載された用紙を提出）
 - ① ショック
 - ② 発熱
 - ③ 意識障害
 - ④ 失神
 - ⑤ 視力障害
 - ⑥ 胸痛
 - ⑦ 心停止
 - ⑧ 呼吸困難
 - ⑨ 興奮
 - ⑩ せん妄

- 11 終末期の症候
- 12 急性冠症候群
- 13 心不全
- 14 大動脈瘤
- 15 高血圧
- 16 糖尿病
- 17 脂質異常症
- 18 依存症

方略（LS）

1. オリエンテーション
 - ① 目標・スケジュールの確認を行う。
 - ② 病棟等関係部署で自己紹介を行う。
2. 病棟研修
 - ① 上級医とともに担当患者を、毎日回診し、問診、身体診察、検査結果の評価、治療計画の妥当性を検討する。
 - ② 主治医の指導を受けながら、診療情報提供書や各種診断書などの書類、退院時サマリーを記載する。
 - ③ 総回診、カンファレンスでは、担当患者について、簡便に過不足なく提示する。
 - ④ 心臓カテーテル検査・治療に参加する。
3. 外来研修
 - ① 上級医の外来診療に同席し、定期受診患者、初診患者の診察。日常生活のマネジメントについて勉強し、疾患に特徴的な症状・診察所見について学習する。
 - ② 受け持ち患者の外来受診に同席し、退院後のフォローについて学習する。
4. 救急外来研修
指導医とともに診察を行い、診断に必要な検査のオーダーとプライマリケアを行う。
5. 各種カンファレンス・勉強会（心不全・狭心症・心筋梗塞・不整脈については子扇を行う。）に参加する。
6. 自主学習
 - ① 図書館の書籍、インターネット、DVDも活用して知識（ガイドラインなど）、手技、態度を学ぶ。
 - ② スキルラボにて手技の習得を行う。

評価（Ev）

評価は、内科プログラムの評価に従い、観察記録とし、研修医および指導医が1か月毎に行う。

研修スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	心カテ助手	心エコー	一般外来研修	心カテ助手	心エコー
午後	心カテ助手	心カテ助手 症例検討 会・抄読会	病棟回診	病棟回診	病棟回診